

## 東南アジア諸国文化遺産保存修復協力 (②セ03-11-1/5)

### 目 的

東南アジア諸国においては、文化遺産の保存修復に関する国際協力や域内連携の動きが近年活発化しているが、なお多くの文化遺産を抱え、国ごとの保護体制に関するレベルの差も大きい。このため、当該地域における保存修復事業への協力およびこれに関する調査研究の実施を通じて文化財の保存・修復に関する技術移転を図るとともに、この分野での国際協力を推進する。

### 成 果

カンボジア、タイを対象とする共同研究およびインドネシアでの協力事業を実施するため、各国の関係各機関との調整を行うとともに、カンボジアにおいて実質的な調査研究活動に着手した。

1. カンボジア：(1)現地調査1：6月6日～12日、アンコール遺跡群タネイ遺跡において、石造遺跡の微生物被害に関する調査を実施した。具体的には、環境条件と着生する地衣類・蘚苔類・藻類などの種類との関係を明らかにし、これらの生物が石材劣化に及ぼす影響についての研究調査を継続的に行っている。また、6月8日～9日にシエムレアプで開催されたアンコール遺跡保存開発国際調整委員会（ICC）技術会議に参加し、上記調査に関する報告を行った。(2)現地調査2：12月2日～11日、タネイ遺跡において、日本・韓国・イタリアから微生物分類額や生物劣化の専門家も招いて上記に続く現地調査を実施し、乾季における状況の観察や微生物種同定のためのサンプル採取等を行った。同12日にはICC年次総会に出席したほか、17日までプレア・ヴィヒア遺跡を含む国内遺跡の現状調査、西トップ遺跡における今後の協力に向けた奈文研担当者との現地協議等を行った。(3)合意書更新：12月13日、アプサラ機構本部にて、同機構ブン・ナリット総裁、東文研亀井所長、奈文研井上副所長出席のもと、三者による2015年度までの共同研究に関する合意書に調印した。
2. タイ：(1)合意書更新：2011年11月、タイ文化省芸術局との間で、2016年3月までの共同研究協力に関する覚書を更新した。(2)専門家招聘：2012年1月30日から2月4日まで、Chaiyanand Busayarat（アユタヤ歴史公園部長）、Saneh Mahaphol（タイ国立博物館保存担当）の両氏を招聘し、国内の煉瓦造遺跡保存修復や文化財防災対策等に関する見学および意見交換を行った。
3. インドネシア：(1)パダン調査および協議：11月15日～21日、パダン被災文化遺産復興支援に関し、ジャカルタにおけるインドネシア歴史考古局との打合せ、およびスマトラ島パダン市等での現地調査を実施した。(2)専門家招聘：上記タイ人専門家招聘にあわせ、Soni Prasetya Wibawa氏（セラン文化遺産保護事務所）を招聘し、同様の見学および意見交換を行った。

以上の今年度活動内容については成果報告書にまとめ、刊行した。このほか、前年度に文化庁委託事業としてインドネシア、西スマトラ州パダン市において実施したワークショップの成果をインドネシア側に還元するため、インドネシア語の報告書を刊行した。

### 刊行物

- ・『東南アジア諸国文化遺産保存修復協力 平成23年度成果報告書』 東京文化財研究所 12.3
- ・『Laporan Workshop Mengenai Rekonstruksi Warisan Budaya Bersejarah Kota Padang』（パダン町並み保存ワークショップ報告書・インドネシア語）東京文化財研究所 11.12

### 研究組織

○川野邊渉、友田正彦、秋枝ユミイザベル、佐藤桂、岡村知明、銚井修一、柏谷博之（以上、文化遺産国際協力センター）、朽津信明、森井順之（以上、保存修復科学センター）、二神葉子（企画情報部）